

広島市の「環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業」について

テーマ：【広島における「ひと」・「環境」にやさしい交通体系づくり】

広島市では、地球環境問題の深刻化や高齢化の急速な進展など、本市を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するため、これからの交通政策の理念と力点を置くべき施策の方向性を示した「新たな交通ビジョン」を平成16年6月に策定した。

「ビジョン」では、政策理念として「ひと・環境にやさしく、活力ある広島の交通体系づくりをめざして」を掲げ、自動車に過度依存する交通体系を見直し、道路と公共交通の分担バランスを保つ両者の役割を考慮しつつ、交通体系の軸足を公共交通にシフトすることで、人間を中心に据えた環境への負荷が小さい持続可能な都市の形成と都市活動や都市の魅力づくりを高める交通体系づくりをめざしている。

こうしたことから、当該モデル事業では、「ひと」・「環境」へのやさしさに着目した事業の推進を図るものである。

事業概要

人間を中心に据えた環境への負荷の小さい持続可能な都市の形成をめざす

公共交通

路面電車のLRT化
交通結節点の改善
低公害バスの導入 等

交通需要マネジメント

ノーマイカーデーの推進
モビリティ・マネジメントの推進
パーク&ライドの推進 等

道路

自動車専用道路の整備
都心を通過する自動車交通の排除
等

(施策例)

公共交通



グリーンムーバーMAX
(国産初の完全超低床式路面電車)

路面電車のLRT化



バリアフリー



CNGバス



ガスステーション

低公害バスの導入

交通需要マネジメント



ノーマイカーデーの推進

道路



自動車専用道路の整備
(広島高速1号線延伸)